効活用を図り、 ては、 計画」に基づき特色ある農業振興 今後とも、

活気にあふれ、 産業が躍動するまち

-産業・雇用-

主な新規事業・重点施策

地域商社づくり事業

4.291万3千円

地域資源の中から潜在的付加価値の高い商材の掘 り起し、商品化、販売までを行う仕組みとして、 地域商社の事業化に取り組みます。

詫間港周辺地区にぎわい創造事業

980万4千円

市全体の活性化につながる観光・交流エリアの形 成をめざし、民間資本によるにぎわい拠点の整備

有害鳥獣対策事業

化のため、

民間による水族館を核

新たな産業創出と地域経済活性

4,031万1千円

せることを目標とし、

国のまち・

的に地域の価値を総合的に向上さ

値の高い商材を掛け合わ

せ、

継続

地域の潜在的付加価

既に認知度の高い

「さぬきうど

罠具などの購入に対する補助率の引き上げなど、 有害鳥獣の捕獲・駆除対策に積極的に取り組みます。

の骨格作りなど側面的支援を行

手企業で構成する地域商社協議会 ひと・しごと創生本部事務局や大

・を受け、

地域商社業務

ます。

ます を支援し、 他です。市内立地企業の振興 田こそ地域が成り立つ根幹 市民生活の向上に努め

最大限の活用や農業振興基金の有 く状況は年々厳しさを増していままた耕作放棄地の増加など取り巻 市の基幹産業である農業につい 農業従事者の高齢化や減少 「三豊市農業振興 県補助事業の その司令塔として民間主体の 地域が稼ぐ仕組みを構築するため 野に入れた販路を開拓するなど、 望な地域資源を発掘し、

とともに、捕獲後の効果的な対策域ぐるみによる取り組みを進める にも取り組みます。 ています。狩猟者の負担軽減や地 を超えた広域的対策が急務となっ 拡大の一途をたどっており、 市域

三豊市で市場化されず シシ被害は に眠る有

を急ぎます。

バウンドに対応できる体制づくり

また、急速に拡大してい

るイン

り組んでまいります。 り組むとともに、 事業者を募集し決定します。

観光施策では、「三豊の夏」を

組むとともに、広域観光にも取ーマにしたプロモーションに取

せ、平成31年のオープンを目指し としたにぎわい創造事業を前進さ

金については、 者に対する支援などを引き続き進をはじめ、空き家バンク制度利用の住宅取得補助の3年間時限延長 なお、 定の目的を達成したため事業を 移住定住に関しては、若者世帯 住宅リフ 当初の時限を迎え ム事業補助

海外も視

たくさんの楽しみがある 「三豊の夏」を



売り出していきます

特集 | 平成29年度施政方針と予算

未来につなぐ 次世代へ誇れるまちづ

第1回市議会定例会の初日、

横山市長は平成 29 年度の施政方針を力強く訴えました

三豊市の未来に向け、子育て世代への支援と

幼児教育の充実に取り組むため、大胆な改革を始めます。

平成 29 年度の一般会計当初予算は 311 億 7 千万円。

「強くやさしく楽しい三豊」を目指し、本年度の取り組みを予算とともに紹介します。

でに準備ができて 訴えてまいりましたが、 併を選択し、

松へ流出するだけでなく、た。また、社会増減も、東 要因を詳細に分析するとともに、 市町への転出超過があり、この点 査から約3千 市は65,524人と5年前の調 きたと認識しております。 が定着し、三豊市の基礎ができて 治体からも注目されるような自立 来志向のまちづくりを進め、 した、「市民力によるまちづくり を終え、三豊市の第2ステ年度は合併10周年の区切り 国勢調査の人口が確定し、 新市発足以来10年、 ジが本格的にスタ 我々は相当な危機感を持ち、 人の減少となりまし 徹底した未 東京や高 します。 三豊 他自

自立するまちづくり

対応を急ぎます。

日本全体の

分権の受け皿となるべく市町村合 集中は止まりません。 社会を迎えるなか、 **るなか、東京への一極の人口が減少する縮小** 権限と財源の移譲を いるにも関わら 東京への 地方は地方 ・我々はす

市政運営

取り戻すことになります。れの地域が輝き日本が真に元気を くりを進めることこそが、それぞ 地域特性を生かした多彩なまちづ し、地方が自立して、 権限と財源を大胆に地方に移譲

立」するまちづくりを進めてまい ではなく、それぞれが力強く「自 認め合う「共生」を重視し、「依存」 合い、「選択」ではなく多様性を さまざまな個性がお互いを尊重し 値観を転換させるため、三豊市はす。その凝り固まった考え方や価 今や行き詰った理念となっていま の東京も人口減少が始まるという

覚悟も必要となります。

痛みを伴

たり前のように行ってきた公共サ

ービスを改革し、一部を廃止する

の未来を担う子どもたちに、集中

ただし、限りのある財源を三豊

して投入するためには、今まで当

子育て世代への経済的支援 脱却を図り、 ハウの積極的導入により、 いる「行政依存型思考」からの の創造を目指してまいります。 しさ溢れる多極分散型田園都 地域内分権や民間ノ

画に示す6つの基本目標ごとに、

とするものであり、

以下新総合計

億7千万円

成した平成29年度一般会計当初予

このような基本的方針の

もと編

りますようお願い申し上げます。

人口が減少する

けを求める理念の行き着.「選択と集中」というネ 上げました。そして間もなく、そ き、確固たる東京一極集中を作り 全国あらゆる地方の衰退を招 それぞれの う効率だ 17 、 た 先

まいります。

支援につながっていくよう努めて のことが、子育て世代への経済的 のことが、2~~した財源を大胆に投入します。そした財源を大胆に投入します。そ

高度経済成長時代から引きずっ

来のため、

格別のご理解をたまわ

ので、市民の皆さんには三豊の未

極的な支援に投入してまいります子どもたちと、子育て世代への積

た財源を、これからの三豊を担う れますが、その削減により捻出し う厳しい取捨選択の決断も想定さ

め、予算は縮小いたしますが、1議会からの継続要請を重く受け止 年間時限延長いたします。

たちのすそ野を広げ、を利用し、三豊と心の も視野に入れ、 の充実や、 の提唱する「ふるさと住民票制度」 また、新たに民間シンクタンク 三豊へのふるさと回帰 三豊と心のつながる人 多くの人とゆるく ふるさと会

広報 みとよ 2017年4月

女性に選ばれる三豊市を目指しま

若い世代が安心して働き、

は、女性に焦点を当て、

特に若

17

もまいりません。そのため三豊市 現実を、ただ座視しているだけに

産・子育てできるよう、

本年度は

を民間事業者 本年度からは、

へ運営委託します 高瀬南部保育所

の多くで県内最も低い水準となり幅に引き下げられ、国基準の階層 るよう、 投入し、その充実を図ります。 特に若い女性が安心して働き続け 育てするなら三豊が一番!」とな 充し、名実ともに「やっぱり、 の負担軽減につながるものと考え られる環境の提供と、子育て世帯 といわれている保育所保育料が大 その結果、 幼児保育に財源を大胆に 県内他市に比べ高い 子

三豊が一番!」をさらに拡れまでの「子育てするなら

検討してまいります。 幼稚園の認定こども園への移行を 保育ニーズへ対応するため、 しております。 幼稚園については、3歳以上の

子ども・子育て支援事業、 た、放課後児童クラブ事業、地や子育て応援サービス券事業、 この他、子ども医療費助成事業 本年度も引き続き充実を図 予防接種事業などにつ 新たな取り組みとして への支援を継続します 母子保 地域 ま

公立

主な新規事業・重点施策

高瀬南部保育所管理運営事業

1億3,428万9千円

公設民営の保育所として、高瀬南部保育所の運営 を指定管理者に委託します。



保育所保育料の引き下げ

保育所保育料の引き下げを行い、本市の子育て環 境を充実させます。

山本地区就学前施設建設事業(保育所) 2,473万4千円

山本地区の就学前施設の一体的整備に向けて、基 本・実施設計を行います。

子どもの学習支援事業 268万6千円

生活困窮世帯の中学生のうち、高等学校に進学を 希望する生徒を対象に学習支援を行います。

人々が支えあい、健康で いきいきと暮らせるまち

-医療・健康・福祉-

ウを活かした新たな保育サービス土曜日の終日保育や民間のノウハ ところです。 の創出に大きく期待を寄せてい の展開など、 uく期待を寄せている より良い子育て環境

ります。 保育事業者の参入を支援してまい される見込みであり、 る私立保育園も本年4月から開設 運営を始めました。民間が運営す へ民間事業者が参入」昨年度から、「小規模 今後も民間

ベルアップにつながるものと期待も広がり、市内保育所の更なるレ 磋琢磨することで保護者の選択肢 が三豊に生まれ、民間と行政が切 私立や公設民営という新しい風

> ナー登録者の支援を強化し 助成を行い、骨髄バンクド提供者の事業所に対しても ナー登録支援制度」を創設 を開始します。 業する期間の休業補償と、 さらに、「骨髄バ ンクド

「小規模保

協議しながら、 の必要があるため、 は、耐震性の面で改修など 永康病院本館棟について 具体的な将 議会と

た「子どもの学習支援事業_

市の形成を推し進め、されますので、バイナ りし、厚くお礼申し上げます。 のご理解・ご協力にこの場をお借 |立を図ってまいります。|| る「循環型環境都市みとよ」の う三豊市のコンセプトが具現化 合併処理浄化槽の設置を推進す 「ごみはすべて資源」であると オマス資源化センタ 単独浄化槽や汲み取り式 地元関係者の皆さん 4月から本格稼働 イオマス産業都 内外に誇り

削減のため、 整備に努めます。 濁の防止を図り、 北部火葬場については、 地球温暖化防止対策と維持経費 新たに環境省の補助 公共用水域の水質汚 快適な生活環境 平 成 30

を重ねており、

成30年4月の事業開始に向け協議

協定などの手続きを進めます

年早期の供用開始を目指します

また、これにより不要となった火

▲バイオマス資源センターみとよ が本格稼働し、燃やせるごみが資 源に変わります

豊かな自然と共生し、 環境にやさしいまち

-環境・生活-

主な新規事業・重点施策

コミュニティバス更新事業

4,523万6千円

合併特例債を活用し、計画的にコミュニティバス 車両を更新します。

火葬場建設事業

12億6,649万3千円

前年度からの継続事業として年度内の早期竣工を 目指し、北部地区の火葬場建設を行います。

バイオマス資源化センター事業

413万8千円

民設民営のバイオマス資源化センターが稼働する ことに伴い、事業者の財務状況や施設の運転状況 のモニタリングを行います。

き取り組みます。 付金を活用し、 道路・橋りょう・ 竹資源などは、

債を活用し、重点的に実施します 会に適応しつつ、 設の整備に関しては、 いては、 、長寿命化に努めてまいりま適応しつつ、適正管理と維持整備に関しては、人口減少社 市道の改良、 今後4年間は合併特例 舗装などに

ル製造や商品開発の検討に引き続

、竹有効成分サンプは、地方創生推進交 港湾・漁港施

人々が助け合う、 安全・安心なまち

ー安全・安心ー

デジタル防災行 加えて、平成 安全・安心の確 年度は として、各種施 の共有」を基本 策を推進いたし 高い生活環境」・ 保」・「利便性の 政無線を整備す 「市民との情報 るための準備に

主な新規事業・重点施策

移動系デジタル防災行政無線整備事業 921万3千円

平成30年度において移動系デジタル防災行政無 線の整備を行うため、実施設計を行います。

老朽危険空き家除却支援事業

800万円

体設立準備協議会」において、平体を目指し「香川県広域水道事業で強靭な持続性が確保できる事業県内水道事業の広域化は、安全

水道施設や水道管の更新・耐震化

水道事業については、

引き続き

を計画的に実施します。

老朽化した危険空き家の取り壊しに対して、補助 金を交付します。

ともに考え行動する、 自らが創るまち

-人權·住民自治·行財政-

主な新規事業・重点施策

第3次三豊市男女共同参画 プラン策定事業

572万4千円

男女共同参画社会の理念のさらなる普及、 実践に向けて、第3次プランを策定します。

市民センター三野整備事業 1億276万6千円

三野地区における地域コミュニティの拠 点施設として、市民センターを整備します。

情報公開手数料の無償化

情報公開制度の利便性を高め、情報公開 を促進するため、情報公開手数料を無料 にします。

ことから、 の推進計画」も併せて盛り込みまの職業生活における活躍についてます。今回のプランには、「女性 ます。今回のプランには、 ラン」は平成30年3月に終了する 「第2次三豊市男女共同参画プ 第3次プランを策定し

に、健全な財政状態を維持できる ミュニティの活性化を図るととも 公共施設再配置事業は、 A地区においては、支所・公実行計画に沿って進めます 地域コ

2次新総合計画」の策定準備に取 第月に終了しますので、「第一総合計画」が平成31年3

り組みます。

所を集約した「市民センター三野」 始を目指します。 民館・社会福祉協議会などの事務 平成30年1月の供用開

エンスストアで、本年4月から、 得と、市税の納付ができるように 印鑑登録証明書などの証明書の なります。 けて基金の債券運用を実施します。 利性が担保された場合、基準を設 の債権へ移行する準備を行 全て定期預金から一部を国債など れるなか、基金運用をこれまでの ドを利用して、 普通交付税の段階的縮減が行わ 住民票の写した マイナンバ 全国のコンビニ 有 取 やカ

んでま

いります。

寿命の延伸を図り、地域対策をはじめ高齢者の傾的に活動するまち、認知 速させ、 の市、 に社会参加のできるまちづ性がキラキラと輝き積極的 安心して暮らせるまち、 くりに力点を置いて取り組 てきた地域内分権を一層加 入ります。 はいよいよ第2ステージに 紀策をはじめ高齢者の健康 記に活動するまち、認知症 の、自立した市民力が精力 今年度は、 いひとつのふる里とし山から海まで、ひとつ 一体化してきた三豊市 併以来、 行政依存から脱却 今まで推進し ・を基盤と-つのコミ 地域で 女

づくりを推進いたします。

自立した市民力と多様な

尊重し合う、開かれたまち

確立させ、高齢者が安心でい三豊のライフスタイルを

れる、

みずみずしい田園都

き子どもたちに笑顔があふ

三豊」を、市民の皆さんと

「強くやさしく楽しい

緒に築き上げてまいりま

なで見守り、 支えていくよう三豊の未来なで見守り、育て、成長を 子どもたちをみ 画期的で大胆 向けた私の市政に対する方い申し上げ、平成29年度に理解とご協力を重ねてお願

を重視して多様な価値観を 閉鎖的になることなく 「共生」 そし

て、閉鎖的になることめ、決してひとつの価 積極的に受け入れ、 市外からの人・物・投資を 、決してひとつの価値観これらを実現させるた

糖尿病予備群と判定された場合に

特定健康診査の結果により、

変重要と考えます。

地域社会として就学

食事や運動などの改善の動機

けや積極的支援を行い、

園保育料の無償化を行い

実施設計に取り組みます

跡地を有効に活用した基本設計 については、閉校後の大野小学校

げていくため、 前教育を重視し、

国に先んじて幼稚

小学校へとつな

糖尿病の重症化予防を行うととも

防のため、

ビックデ

タを活用し

欠であり、

特に3歳児から5歳児

育てるためには教育の充実が不可

もった人材です。そういう

人材を 志を

市内小中学校における学校IC

|のはすべて人であり、

そして未来を担う

教育環境の抜本的な充実を図りま

直接的支援を強化します。

疾病・治療状況などを把握・

タヘルス計画により

基盤を培っておくことは、子ども

ます。この時期に社会的・道徳的 ごろの吸収力は旺盛といわれてい

育環境を整備してまいります。

幼稚園・学校施設などの外壁な

事務改善と、

ICTを活用した教

キュリティを確保し、 T整備事業を実施しつつ、

教育現場の

情報セ

たちの人生や未来社会にお

いて大

寿命化を図ります。どを改修し、効率的

効率的・効果的な長

山本地区就学前教育・保育施設

支援し、「地域ケア会議の推進」

地域支援事業の充実を図る 生活習慣病である糖尿病予

健康寿命延伸のため市民活動を

移を見ながら住民組織が開催でき

るよう整備を進めます。

回の開催ですが、今後は、当初は、市内で1カ所、

その推

毎月1

当初は、

▲各図書館のイベントは、さまざまなグループが工夫 を凝らし読書の楽しさを伝えています

豊かな心を育み、 文化を発信するまち ー教育・文化ー

主な新規事業・重点施策

幼稚園保育料の無償化

します

る認知症カフェを新たに設置いた

の人をはじめ、その家族、

地域の 認知症

認知症地域支援として、

人などさまざまな人が気軽に出会

お茶や、

おしゃべりを楽しめ

を実施してまいります。

画につながるよう、計画的に事業 年度からの第7期介護保険事業計 組み事業を的確に実施し、

平 成 30

年度となるため、これまでの取り

第6期介護保険事業計画の最終 て計画の具体化を図ります。

来像に向けて、

今後のあり方につ

幼稚園保育料の無償化を行い、就学前教育環境を 充実させます。

学校 I C T 整備事業 9.398万6千円

小中学校に無線LAN環境を整備し、電子黒板 教科書を活用したICT教育を行います。

学校図書館指導員の充実 415万2千円

中学校に学校図書館指導員を配置し、生徒の主体 的・意欲的な読書活動を推進します。

山本地区就学前施設建設事業(幼稚園) 3.075万2千円

山本地区の就学前施設の一体的整備に向けて、基 本・実施設計を行います。

めます。 を図りつつ、 を行い の再編整備を計画的に進 書館再編基本構想に基づ 員を拡充し、児童・生徒 また、 図書館については、 関連計画との整合性 、ます。 学校図書館指導 市内図書館

や教員に対する間接的

グランドデザインの作成 方向性を調査・研究し、 部局が連携し、民間投資 の整備については、 瀬駅から庁舎周辺エリア も視野に入れた将来的な みとよ未来創造館と高 関係

用語解説

歳入

自主財源:

市が自主的に収入できる財源 (市税、使用料、財産収入など)

依存財源:

国や県から交付されたり、割 り当てられたりする財源(地 方交付税、国庫支出金、県支 出金など)

歳出

義務的経費:

その支出が義務づけられ、任 意に節約ができない経費(公 債費、人件費、扶助費)

投資的経費:

道路や施設などの整備に使う 経費(普通建設事業費、災害 復旧費)

その他経費:

上記以外の経費(物件費、補 助費等、積立金など)

維持補修費 0.5% 1億4,661万2千円 (+11.8%)

補助費等

11.9%

(-17.5%)

37億1,711万7千円

33億5,961万7千円

人件費 49億1,650万2千円 物件費 15.8% 64億7,491万4千円 20.8% (-0.1%) (+5.1%)

義務的経費 その他経費

35億5,475万5千円 110億9,975万6千円 35.6° (+4.1%)

145億1,725万6千円 (+1.3%) 46.69 (-1.4%) 投資的経費

公債費 26億2,849万9千円 8.4%

扶助費

(+8.9%)

55億5,298万8千円

(+8.9%)

2.6% (-11.2%) 積立金·貸付金·投資 および出資金・予備費

繰出金 (+11.8%)

10.8%

普通建設事業費·災害復旧費

)は前年度予算額との比較です

(+0.1%)

8億1,899万6千円

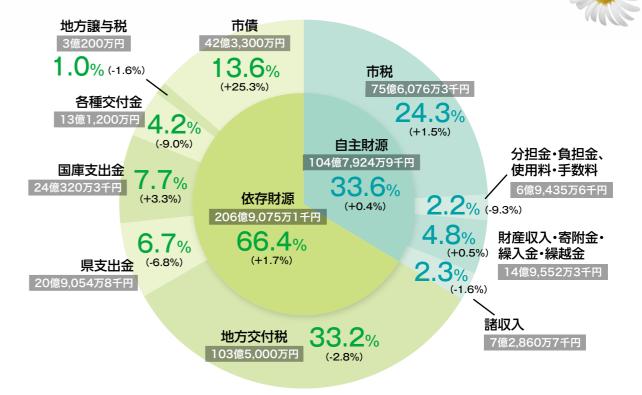
特別会計						
会 計 名	平成 29 年度 当初予算額	平成 28 年度 当初予算額				
国民健康保険事業特別会計	9,880,000	9,980,000				
国民健康保険診療所事業特別会計	162,000	165,000				
後期高齢者医療事業特別会計	957,000	934,000				
介護保険事業特別会計	7,600,000	7,590,000				
介護サービス事業特別会計	105,000	106,000				
集落排水事業特別会計	176,000	192,000				
浄化槽整備推進事業特別会計	238,000	231,000				
港湾整備事業特別会計	21,000	21,000				
合 計	19,139,000	19,219,000				

企業会計	単位:千円			
会 計 名	平成 29 年度 当初予算額	平成 28 年度 当初予算額		
水道事業会計	2,489,064	2,489,276		
病院事業会計 「永康病院・西香川病院」	1,800,786	1,831,845		
合 計	4,289,850	4,321,121		

財政課 ☎73・3010	▼問い合わせ	なっています。	どにより、全体では前年度比減と	となるものの、補助費等の減額な	度の導入などにより物件費が増額	育所の運営における指定管理者制	その他の経費では、高瀬南部保	どです。	業、市民センター三野整備事業な	な実施事業は、北部火葬場建設事	8千円 (前年度比+9%) で、主
--------------	--------	---------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	----------------	------	-----------------	-----------------	-------------------



▲北部火葬場外観イメージ図



)は前年度予算額との比較です

市債は42億3,300

られていない一般財歳入予算のうち、 なものでは市税75億6,076万られていない一般財源として、主 使い道が決め

311億7 平成29年度の一般会計予算総 1.3 %增 ,000万円

上しています

万8千円(前年度比+1.%)を計

成に当たっては、 育む市民力都市・三豊」を実現す 施策に取り組んでいます。 の分野ごとの基本目標を設定し、 るため、三豊市新総合計画で6つ 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」 7,000万円を計上しました。 市では、「´豊かさ、をみんなで 率にして1.3%増の311億 前年度比3億9,000万 戦略的かつ計画的な財 新たに策定した 予算編

公共施設整備へ合併特例債を活用した

円 (前年度比▲0.1%)、1 どにより前年度比増となったこと障がい者自立支援事業費の増額な 万5千円(前年度比+4.%)で、扶助費については35億5,475、+1.%)を計上しています。また、 億2,849万9千 歳出予算のうち義務的経費で 投資的経費は55億5,298万 2,849万9千円 (前年度比 (前年度比▲0.%)、公債費26 人件費4億1,650万2千 義務的経費全体でも、

比▲7.%) などを計上しています。 付金16億1,400万円 (前年度 年度比▲2.%)、地方譲与税・交 で付税103億5,000万円(前 からの繰入金は、 (前年度比+1.5%)、 市の「貯金」である基金

います。

(前年度比+25・3%) となっ

については、

-5·3%) となって 、42億3,300万円 の「借金」である市債